



**E-ASIA**  
university of oregon libraries

<http://e-asia.uoregon.edu>

# 飛鳥寺

薄田泣菫

初出：「三田文学」

1911（明治44）年3月

# 飛鳥寺

## 薄田泣菫

私が飛鳥の里に来たのは、秋も半ばを過ぎて、そこらの雑木林は金のやうに黄いろく光つてゐた。つい門先の地面を仕切つた、猫の額ほどの畑には、蕎麥の花が白くこぼれてゐた。繊細な、薄紅い<sup>うそ</sup>鶯の脛のやうな莖が裾をからげたままで、寒さうに立つてゐる。程近い飛鳥神社の木立は、まばらに透いて見え、背伸びをすると、耳無し山が寒さにかじけたやうに背を圓めて、つつ伏してゐるのがついそこに見られる。

みすば  
見窄らしい安居院の屋根には、疫病やみのやうな鴉が一羽とまつて、をりをり頓狂な聲を出してそこらをきよろきよろ見まはしてゐる。お堂の入口には、野良猫の瘡せかじけたのがだらしなく身體を投げ出して、日向ぼっこをしてゐる。何處かでひゅうひゅうと口笛を吹くやうな渡鳥の聲が聞えてゐたが、それもいつの間にか黙つてしまふと、四邊はひつそりしてそこらに散らばつた枯つ葉の寐返り一つ打つ音までが、はつきりと耳に響く……

私は以前何かの基礎だつたらしい、平べつたい石に凭れて、じつとそこらを見まはした。飛鳥の宮や元興寺の跡だといつて、壊れかかつた鐘樓と掘立小屋のやうな御堂の他には、何一つ残つてゐるのではない。荒廢もかうまでなると、惚れ惚れとむかしをなつかしがるやほらかい情調は枯れてしまつて、直ぐに人間と自然との窮極の運命を思はせようといふ、露骨な強迫が見えて来る。

むかしここに榮えた人達が後に残した藝術と信仰と、その後に出て来た破壊者の無遠慮な破壊の痕は、皆草に埋れてしまつて、人間の努力のどうせ無駄に過ぎない事を語つてゐる。ここに來て氣持のいいのは、美しいものと、それを滅ぼした人間のある力と、どつちも消えてすつかり跡方が無くならうとしてゐる事だ。名高い飛鳥の大佛といふの

は、今安居院に残つてゐる丈六の銅像の事で、お堂の構を少しも取り壊さないで、あれだけの大佛を入れたのは、世にも不思議な手練だと言ひ傳へられてゐる。實際その時代の知識で、萬が一にも出来ないと思つてゐた事を仕遂げたのは驚嘆すべき不思議で、人間の努力の極致を『可能』に一を加へたものだとすれば、安居院の狭苦しい御堂に丈六の佛を入れたのは、その極致の象徴として見る事が出来る。——が、それももうこんなに荒れてしまつて、むかしの努力の跡と云つたら、何一つ見られなくなつてゐる。はかない人間の仕事は、かうした荒廢の前に立つては、睫毛一つ動かすにも足りないのだ。なんといふ嚴肅沈痛な姿であらう。これは自然のどん底に落ちついた大肯定であり、また大否定である。——私は怯えたやうな心を抱いて、じつと眼をつぶつた。

……私は今日まで途を歩かうといふには、どこやらの詩人のやうに、いつも美しい花の種子を隠しに入れて置いた。そして程よい土地だと思ふと、自分にも蒔いたり、他にも蒔かせたりした。かうして種子を蒔いた美しい花は、わからずやの群衆だの、ある権力を待つたものの荒つばい爪先にかけて、あるものはやはらかい莖を折られ、あるものは黄いろい薬の粉が地べたに染みこむまで力強くふみにじ 蹂躪された。私はそれを思ふと、いつも腹立たしさに息がつまるやうだ。

しかし幸福な事には、私達の蒔いた花は、あの青淵にすがりついた蔓草のやうに、その莖に吾とわが運命を見透し得る眼が開いてゐる。この眼には今滅びかかつた自分の身をすら眺める事の出来る靜かな光がある。それに比べてこれを蹂躪らうといふ輩のみじ

めさといつたら——彼等の生活はちやうどメガロガストリ 巨大胃のやうに、どんな物でも手當り次第に荒こなしをするだけで、自分の生命に吸ひとる分量といつたら、ほんの僅かしかない。彼等が滅亡の日に出會すと、ちやうどかうした巨大胃の病人が食斷ちしたやう

に、少しのもちこた 持堪へもなく死んでしまふ。——それを思ふと、かうした荒廢の姿に、私は言はうやうのない温かい氣持をもつ事が出来る……

底本：「現代日本紀行文学全集 西日本編」ほるぷ出版

1976（昭和 51）年 8 月 1 日初版発行

底本の親本：「薄田泣菫全集 第八巻」創元社

1939（昭和 14）年刊行

初出：「三田文学」

1911（明治 44）年 3 月

入力：林 幸雄

校正：門田裕志

2003 年 3 月 24 日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、[青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）](http://www.aozora.gr.jp/)で作ら

れました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。